



いしかわ労福協

第617号 2019年6月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 西田 満明
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行

第58回通常総会

労働者・生活者の更なる福祉向上へ



西田理事長

柚木光副理事長が、前日夜に発生した新潟・山形での地震と全国研究集会に触れ、共助の大切さを訴えて開会挨拶をした後、村上睦代議員を議長に選出して開会した。

西田満明理事長が「賃金の格差が大きい等、依然として厳しい状況の中、労福協が3年前から取り組む奨学金問題において、ようやく給付型奨学金が導入されたものの、受給対象者は僅か2万人。これでは毎年35万人もの新入生が奨学金というローンを抱えている状況に変わりなく、まだまだ不十分である。今後も問題解決を訴え続け、超少子高齢化や子どもの貧困の改善に繋げていく必要がある。

また、食糧支援への取り組みとして、食とみどり水NWの活動に参画しての支援米の育成・寄贈、3月に設立した『いしかわフードバンク・ネット』による食糧を必要とする人達を支援する活動をさわやかU等とともに開始した。



田村県労働企画課参事



村田金沢市労働政策課長

石川労福協は、第58回通常総会を6月19日(水)フレンドパーク石川ホールにおいて開催した。

個々が孤立することなく、皆で支え合う心の豊かさを求めていくことが必要である。

働く仲間・生活する仲間の福祉の前進・生活の向上のため、労働者福祉運動の充実・強化に皆さんのご支援をお願いします。」と主催者を代表して挨拶した。

続いて、石川県知事の祝辞を石川県商工労働部労働企画課の

田村博参事が、金沢市長の祝辞を金沢市経済局労働政策課の村田昌人課長がそれぞれ代読したほか、一川政之氏が国民民主党石川県総支部連合会を、森一敏氏が社会民主党石川県連合をそれぞれ代表して挨拶した。

総会では、2018年度一般経過報告・会計報告・会計監査報告、労福協会員団体の年会費等、役員改選、役員報酬等の額について、それぞれ執行部より提案され、全議案が満場一致で承認された。

一般経過報告では、福祉なんでも相談窓口、子育て支援、就業支援の各事業を通じ労働者や生活者を側面から支える活動やライフ・サポートセンター事業により地域住民への共助の広がり、労働者自主福祉運動の推進、フードバンク事業等の取り組みが報告された。

また、任期満了による役員改選では、立候補者全員を選任、西田理事長を再任し、一層の労働者福祉の向上に取り組むことが確認された。

全議案審議終了後、役員改選により退任された加藤卓治氏、川中淳也氏、石塚聡氏は、総会参加者に対し、この間の感謝とこれからも労福協運動を側面支援する旨の退任挨拶をした。

最後に、光林邦彦副理事長が、村上議長への感謝を述べた後、全議案承認の感謝といま必要とされる共助そのものが労福協の運動であり、引き続き、皆様のご支援ご協力を願うとの閉会挨拶で、総会を締めくくった。



一川国民民主党石川代表



森社民党石川県連副代表



退任された加藤、川中、石塚の各氏(左から)

労福協第2回理事会

労福協は、6月19日(水)開催の第58回通常総会終了後、第2回理事会を新役員体制下で開催した。

理事会は、通常総会において任期満了による役員改選により理事15名、監事2名が選任されたことを受け、理事長に西田満明理事(非常勤)、副理事長に柚木光理事(非常勤)・光林邦彦理事(非常勤)、専務理事に中川博理事(常勤)を互選し、新役員体制を決定した。

そのほか、第16次日中友好訪問代表団の派遣日程が決定したことを報告したほか、メーデー協賛行事である「自然災害被害地域視察団」の派遣を決定した。

中央労福協全国研究集会

中央労福協は、6月7日(金)8日(土)の両日、熊本市の「ホテルメルパルク熊本」にて、「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない社会を！」をテーマに、全国から382人が参加し、「2019年度全国研究集会」が開催され、本県から5人が参加した。

主催者を代表し、神津里季生中央労福協会長が、「熊本地震から3年が経過したが、未だに不自由な生活を余儀なくされている被災者もあり、一日も早い復旧復興を祈念する。」とあいさつした。続いて、蒲島郁夫熊本県知事と友田孝行熊本労福協理事長から歓迎のあいさつを受けた。また、



九州新幹線の全線開業をきっかけに誕生した「くまモン」(熊本県営業部長兼しあわせ部長)も登場し、会場に花を添えた。

第1部の特別講演は、特定非営利活動法人「抱撲」理事長の奥田知志氏より、「共生社会とは何か、いのちの普遍的価値と家族機能の社会化について」と題し講演を受けた。

冒頭、5月に発生した「川崎殺傷事件」などの痛ましい事件に触れ、自己責任について話された。自己責任が当たり前になりつつある時代に、地域に、友人に相談することは「迷惑・悪いこと」なのか。一昔前では、相談する・地域が世話をすることが当たり前であった。「当たりの前」のことが特別なことになる時代の未来をもっと考えなければならないなどと話された。

続く基調講演は、中央大学法学部教授の宮本太郎氏から「2040年に向かう地域と生活保障～中央労福協70周年に寄せて～」をテーマに講演を受けた。超少子高齢化が2040年の社会保障にもたらす大きな課題として、①世代間②地域間③税収と支出の3つの不均衡の極大化がある。2040年の社会保障給付額は、現行水準換算で190兆円とも言われている。その中で、生活の視点から労働と消費をつなぎ、働き方の柔軟性と誰も

これからの行事予定

(6月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
6月27日	木	第3回自主福祉運動活性化会議	フレンドパーク石川
〃	〃	さわやかU 第19回通常総会	労済会館
7月2日	火	中央労福協 2019年度事業団体・地方労福協合同会議(～3日)	東京都
3日	水	中央労福協 フードバンク活動に関する情報交換会	〃
5日	金	メーデー協賛 第51回勤労者写真サロン展 珠洲展(～7日)	ラポルトすず「音ミュージアム」
9日	火	2019年度第1回事業団体連絡会議	フレンドパーク石川
11日	木	全国会館協 2018年度第3回幹事会(～12日)	仙台市
13日	土	メーデー協賛 第51回勤労者写真サロン展 輪島展(～15日)	輪島漆芸美術館
17日	水	第4回 自主福祉運動活性化会議	フレンドパーク石川
19日	金	中央労福協 地方労福協事務担当者研修会	横浜市
〃	〃	メーデー協賛 第51回勤労者写真サロン展 七尾展(～21日)	フォーラム七尾
23日	火	小松・能美 LSC 総会	ホテルビナリオ KOMATSU セントレ
26日	金	第17回福祉グラウンドゴルフ中央大会実行委員会	フレンドパーク石川
〃	〃	第5回 自主福祉運動活性化会議	〃
27日	土	食みどり水 海洋資源学習会	羽咋市
31日	水	こくみん共済 coop 石川推進本部 代表者会議・石川共済生協通常総代会	労済会館

が働ける場をつくる協同組合の果たす役割は重要であるなどと話された。

第2部は、中央労福協花井圭子事務局長から「労福協の理念と2020年ビジョンの検証・見直し」についての報告があった。

続いて、「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない福祉社会を！」をテーマにパネラーの南部連合副事務局長、佐藤労金協会常務理事、稲村こくみん共済coop常務執行役員、和田日本生協連専務理事、古村ワーカーズコープ理事長によるパネル討論を実施し、研究集会の全日程を終えた。 専務理事 中川 博

中部会館協議会定期総会



中部会館協（中部労働者福祉会館協議会）は、6月5日（水）～6日（木）の日程で令和元

年度定期総会及び役職員研修会をフレンドパーク石川などで開催した。

総会は11会館中10会館より15名が参加して開かれ、上野貞彦会長が「米中貿易摩擦や10月の消費増税により景気悪化や仕入れ価格の上昇など会館事業を取り巻く環境が厳しくなることが予想されるが、労働者の福祉向上と利用者サービスの維持・向上に知恵を絞り安定経営に尽力されたい。協議会会員は今後とも情報交換など連携していきたい。」と開会挨拶したのち、開催地を代表して中川博石川労福協専務理事が来賓祝辞を述べた。

平成30年度事業報告・会計報告・監査報告、令和元年度事業計画・予算、一部役員の交代について、いずれも満場一致で承認し、互いに利害関係を有することの少ない会員同士の結束を確認し総会を終えた。

その後、金沢市立安江金箔工芸館において金沢の伝統工芸である金箔づくりの歴史を学んだほか、金箔商品等を見聞きして、地元産業とのコラボなど会



館事業におけるヒントとした。

翌日は、金沢城公園・兼六園・鈴木大拙館を訪ね、金沢の魅力を満喫して、今回の研修とした。

支援米を作付け

労福協・連合石川などで構成する食とみどり水を守るいしかわネットワークは、5月25日（土）に金沢市牧山町の水田において、親子等約80名が参加して、支援米の田植えを実施した。



当日は、日中に最高気温が30度に達する日差しの強い中、参加した親子は、しばらくの間、中山間地の田んぼにて田植え作業に勤しんだ。

天候に恵まれ作業は捗り、大粒の汗を流した親子等は、冷たいお茶で喉を潤し、一息ついた後、スタッフが準備した焼きたての焼きそばやフランクフルトソーセージ、メッタ汁で、疲れを癒し空腹を満たした。

また、子ども等に準備した作りたてのポップコーンやかき氷は列をなす盛況さで、スタッフは対応に追われた。この先、天候に恵まれ、頭を垂れるほどの稲穂となるよう大きな期待をこめて、秋の稲刈りで再会することとして行事を終了した。

また、子ども等に準備した作りたてのポップコーンやかき氷は列をなす盛況さで、スタッフは対応に追われた。この先、天候に恵まれ、頭を垂れるほどの稲穂となるよう大きな期待をこめて、秋の稲刈りで再会することとして行事を終了した。

勤 体 協

第53回石川県勤労者春季体育大会 《第90回メーデー協賛・パークゴルフ大会》

5月26日・小松市木場湯公園

<個人>

◇男子ゴールド

①吉田満（小松）②西本秀則（小松）③林宏一（能美）

◇女子ゴールド

①太田美智子（小松）②吉田洋子（能美）③滝本久子（小松）

◇男子シルバー

①西島孝久（小松）②泉行雄（能美）③笹木勝信（白山）

◇女子シルバー

①奥野久子（小松）②長木百合子（白山）③竹村ミツ子（小松）

《春季剣道大会》

5月26日・県立武道館

◇団体

①警察学校B②警察学校A③新化館・北陸綜警

◇個人

<男子> ①佐藤博之（新化館）②加地巧（警察学校A）

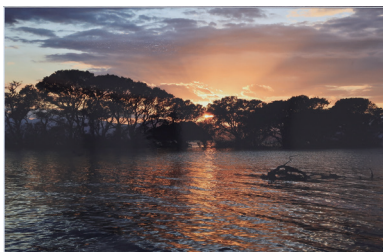
③中越顕士郎（NTNA）

<女子> ①割込有翔（警察学校C）②船木琴乃（警察学校C）

メーデー協賛「第 51 回写真サロン展」開幕

勤文協(石川県勤労者文化協会)主催の第 90 回石川県統一メーデー協賛「第 51 回勤労者写真サロン展」が、6 月 13 日(木)加賀展(加賀市美術館)を皮切りに始まった。

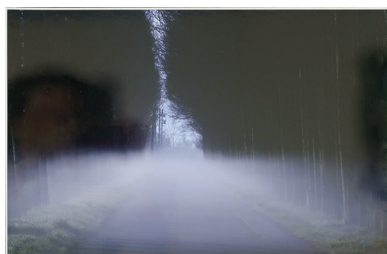
金沢展の最終日となる 23 日(日)には表彰式・合評も行われ、会場は多くの出品者や来訪者で賑わい、この先の小松、珠洲、輪島、七尾、白山での巡回展に弾みをつけた。



勤文協会長賞
「琵琶湖夕照」
見世 安博(津幡町)



北國新聞社長賞
「見つけた」
橋本 良信(金沢市)



招待奨励賞
「早春の一瞬」
星名 哲(かほく市)



金沢市長賞
「瀑」
網代 吉孝(高岡市)



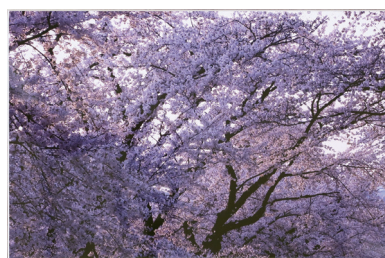
七尾市長賞
「春雷」
長谷川 和子(金沢市)



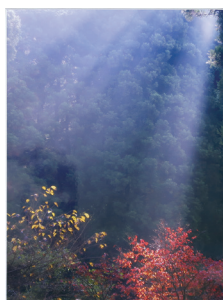
小松市長賞
「雪の朝」
室田 利洋(金沢市)



輪島市長賞
「秋の粧い」
竹田 喜代子(志賀町)



加賀市長賞
「朝の陽光」
狩野 宏成(金沢市)



白山市長賞
「陽光」
山本 辰子(金沢市)



能美市長賞
「夕暮れ時」
東田 利夫(加賀市)



珠洲市長賞
「早春の羅平」
山崎 修(津幡町)